※令和４年度以降入学生用

学校番号	C4001

令和８年度　書道科

科目	書造形演習Ａ	単位数	2
使用教科書	墨 心（大修館書店）		
副教材等	な　し		
レポート	６通		
必要出席回数	８回		
テスト	×　　（スクーリングで取り組む実技課題に代える）		
課題・実習等	レポートやスクーリングで実技課題と作品制作あり		

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「自分で考えて制作する」ことが中心です。様々な用具・用材を使用して、作品制作をします。
　※作品制作に必要な用具・用材は自分で用意する必要があります。
・スクーリングには、必ず教科書と書道用具（大筆・小筆・半紙・墨液）、各スクーリングに必要な材料を持参してください。
　※下敷き・硯・文鎮は、学校のものを使用できます。
・あわせて書造形演習Ｂを受講してください。
・書道Ｉを履修していなくても受講できます。

２　学習の到達目標

（１）書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解し、書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表す。
（２）創造的な書表現をするために、書のよさや美しさを感受し、自らの意図に基づいて構想し表現を工夫し、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、効果的に表現する。
（３）様々な制作活動において、主体的に書の表現及び鑑賞に幅広く取り組む。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	創造的な書表現をするために、書のよさや美しさを感受し、自らの意図に基づいて構想し表現を工夫している。作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、効果的に表現している。	様々な制作活動において、主体的に書の表現及び鑑賞に幅広く取り組もうとしている。

● 学期末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	臨書・創作・実用書の学習	1.発泡スチロール印の制作	a：印について理解し、意図に基づいて構想している。 b：表現方法の基礎・基本を身に付け、作品制作して意図に基づいて構想した表現ができている。 c：作品について考え、書の美を味わい内容を理解して自分のものとしている。 計画的かつ積極的に、レポートに取り組んでいる。	教科書から出題された設問や制作カードの完成度。	実技課題の理解度と表現と丁寧さ。	スクーリングの振り返りができているか。レポートとスクーリングの取り組み状況。
		2.古典臨書(半紙)	a：古典について理解している。 b：書の伝統の基づき、作品を効果的に表現するための技能を身に付け、意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 c：作品や書の伝統を考え、書の美を味わい、内容を理解して自分のものとしている。 計画的に積極的に、レポートに取り組んでいる。			
		3.うちわ作品制作	a：意図に基づいて構想している。 b：制作意図に基づいて構想した表現ができている。 c：作品について考え、書の美を味わい、内容を理解して自分のものとしている。 計画的にレポートに取り組んでいる。			
		4.色紙作品制作 ・大色紙(臨書) ・大色紙(創作)	a：意図に基づいて構想している。 b：色紙作品における基礎的な技能を身につけ、意図に基づいて構想した表現ができている。 c：作品や書の伝統を考え、書の美を味わい内容を理解して自分のものとしている。 計画的かつ積極的に、レポートに取り組んでいる。			
		5.古典臨書 ・筆ペン	a：古典について理解している。 b：書の伝統について考え、筆ペンを使用して意図に基づいて構想した表現ができている。 c：書の伝統を考え、書の美を味わい、内容を理解して自分のものとしている。 計画的にレポートに取り組んでいる。			
		6.実用書 ・筆ペン	a：適切な文字の大きさと配置で、楷書と行書の違いを表現できている。 b：古典から美しい文字造形を学んだ経験をいかし、筆ペンを使用して適切な表現ができている。 c：内容を理解して自分のものとしている。 計画的にレポートに取り組んでいる。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度